

関東信越厚生局長 殿

公益財団法人がん研究会
開設者名 公益財団法人がん
理事長 草刈 隆

公益財団法人がん研究会有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	106 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	266人	63人	277.5人	看護補助者	89人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	2人	3人	3.0人	理学療法士	3人	臨床検査技師	74人
薬 剤 師	54人	1人	54.5人	作業療法士	0人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	1人	その他	0人
助 産 師	0人	0人	0.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	652人	17人	633.9人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	11人	1人	11.6人	栄 養 士	0人	その他の技術員	34人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	87人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	68人	そ の 他 の 職 員	6人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	578人	0人	578人
1日当たり平均外来患者数	1519人	42人	1561人
1日当たり平均調剤数	1239 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	23人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	人	・原発性胆汁性肝硬変	8人
・全身性エリテマトーデス	4人	・重症急性膵炎	人
・スモン	人	・特発性大腿骨頭壊死症	1人
・再生不良性貧血	人	・混合性結合組織病	人
・サルコイドーシス	20人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・特発性間質性肺炎	人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	2人	・網膜色素変性症	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	15人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	184人	・神経線維腫症	13人
・大動脈炎症候群	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	人
・脊髄小脳変性症	1人	・ライソゾーム病	人
・クローン病	16人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	人
・悪性関節リウマチ	人	・脊髄性筋萎縮症	人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	2人	・球脊髄性筋萎縮症	人
・アミロイドーシス	人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	人
・後縦靭帯骨化症	人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	人	・ミトコンドリア病	人
・ウェゲナー肉芽腫症	人	・リンパ管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・強度変調放射線治療 (IMRT)	・
・HPV核酸検出	・
・センチネルリンパ節生検 (乳がんに係るものに限る。)	・
・乳がんセンチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	5回(10月11日、1月10日、2月14日、3月6日、3月27日)
部 検 の 状 況	部検症例数 4 例 / 部検率 1.4%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別添(研究費)参照				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委
				補
				委

計 64

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別添(論文)参照			

計 115

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	西尾 誠人	呼吸器内科	900,000	補 厚生労働省
進行性肺癌に対する化学療法	西尾 誠人	呼吸器内科	900,000	補 厚生労働省
限局性小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	西尾 誠人	呼吸器内科	200,000	補 厚生労働省
血漿および気管支洗浄液を用いた肺癌薬物療法の効果予測因子の臨床的有効性の検討	西尾 誠人	呼吸器内科	500,000	補 厚生労働省
創薬化を目指したglypican-3由来がんペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験	石井 浩	消化器内科	500,000	補 厚生労働省
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	石井 浩	消化器内科	500,000	補 厚生労働省
膵癌に対する術後予防のための2方向性新規ペプチドワクチン療法の開発	石井 浩	消化器内科	2,200,000	補 厚生労働省
膵がんに対する重粒子線療法の確立に関する研究	石井 浩	消化器内科	100,000	補 厚生労働省
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	石井 浩	消化器内科	300,000	補 厚生労働省
切除不能局所進行膵がんに対する標準的放射線療法の確立に関する研究	石井 浩	消化器内科	500,000	補 厚生労働省
消化管がん内視鏡的治療の標準化に関する研究	山本 頼正	消化器内科	500,000	補 厚生労働省
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究—粘膜下層浸潤臨床病期 I (T1N0M0)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第II相試験:JCOG0508	土田 知宏	消化器内科	300,000	補 厚生労働省
ピロリ感染率減少時代における新しい対策型胃がん検診システム構築の検証に必要なプロトコール作成と実現可能性に関する研究	平澤 俊明	消化器内科	500,000	補 厚生労働省
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	斎浦 明夫	消化器外科	500,000	補 厚生労働省
胆道がん切除後補助療法の標準治療確立に関する研究	斎浦 明夫	消化器外科	1,000,000	補 厚生労働省
肝胆膵がんに対する低侵襲外科治療の確立	斎浦 明夫	消化器外科	1,000,000	補 厚生労働省
胃癌肝転移に対する肝切除の適応に関する研究	斎浦 明夫	消化器外科	800,000	補 厚生労働省
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	佐野 武	消化器外科	15,500,000	補 厚生労働省

がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究(早期胃癌に対する合理的治療法の開発)	佐野 武	消化器外科	2,000,000	補	厚生労働省
がん診療ガイドライン作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	山口 俊晴	消化器外科	500,000	補	厚生労働省
頭頸部外科領域における手術手技の開発と標準化	川端 一嘉	頭頸科	650,000	補	厚生労働省
23分指-A-15 がんの集学的治療の早期開発の研究体制に関する研究	高橋 俊二	総合腫瘍科	1,600,000	補	厚生労働省
22-54 骨転移患者のQOL改善を目指した早期診断・治療体系の確立に関する研究	高橋 俊二	総合腫瘍科	900,000	補	厚生労働省
23分指-A-2B 基礎と臨床の橋渡しのための研究	篠崎 英司	消化器内科	360,000	補	厚生労働省
21分指-4-6 抗悪性腫瘍薬による肝炎ウイルス再活性化の調査とその対応に関する研究	横山 雅大	血液腫瘍科	700,000	補	厚生労働省
22がん臨床一般-029 進行期難治性B細胞リンパ腫に対する治療を目指した自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法確立に関する研究	横山 雅大	血液腫瘍科	1,200,000	補	厚生労働省
23-がん臨床一般 切除不能進行・再発胃癌に対する個別化治療に関する研究	陳 勁松	消化器内科	400,000	補	厚生労働省
バイオイメージング画像による抗体医薬と低分子化合物分子標的薬剤のex vivo評価システムの開発:末梢血CTC、CEC、CEPおよび検査または手術新鮮検体を用いて	梶 清彦	血液腫瘍科	13,645,000	補	厚生労働省
バイオイメージング画像による抗体医薬と低分子化合物分子標的薬剤のex vivo評価システムの開発:末梢血CTC、CEC、CEPおよび検査または手術新鮮検体を用いて	高橋 俊二	総合腫瘍科	2,000,000	補	厚生労働省
バイオイメージング画像による抗体医薬と低分子化合物分子標的薬剤のex vivo評価システムの開発:末梢血CTC、CEC、CEPおよび検査または手術新鮮検体を用いて	照井 康仁	血液腫瘍科	4,000,000	補	厚生労働省
バイオイメージング画像による抗体医薬と低分子化合物分子標的薬剤のex vivo評価システムの開発:末梢血CTC、CEC、CEPおよび検査または手術新鮮検体を用いて	松阪 諭	消化器内科	4,000,000	補	厚生労働省
バイオイメージング画像による抗体医薬と低分子化合物分子標的薬剤のex vivo評価システムの開発:末梢血CTC、CEC、CEPおよび検査または手術新鮮検体を用いて	湯浅 健	泌尿器科	2,000,000	補	厚生労働省
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進するプログラム開発研究ーアカデミアにおけるスポンサー機能の充実を目指してー	梶 清彦	血液腫瘍科	1,400,000	補	厚生労働省
HAART時代の長期予後を脅かす治療抵抗性エイズリンパ腫に対する多面的治療戦略開発に関する研究	照井 康仁	血液腫瘍科	2,000,000	補	厚生労働省
膵臓・胆道がんのリスク要因の分子疫学的分析のための検体セットの構築と仮説の設定	石井 浩	消化器内科	500,000	補	厚生労働省
難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための他施設共同研究	石井 浩	消化器内科	120,000	補	厚生労働省
機能温存のための精密縮小手術と至的補助療法の開発、品質管理および標準化に向けた基礎的研究	下地 尚		800,000	補	厚生労働省
HDR組織内照射等の標準化の研究	小口 正彦	放射線治療部	9,328,000	補	厚生労働省

放射線治療を含む標準治療確立のための他施設共同研究	小口 正彦	放射線治療部	500,000	補	厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松本 誠一	整形外科	200,000	補	厚生労働省
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	小口 正彦	放射線治療部	400,000	補	厚生労働省
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	小口 正彦	放射線治療部	500,000	補	厚生労働省
がんの診療科データベースとJNCDBの構築と運用	小口 正彦	放射線治療部	300,000	補	厚生労働省
大腸癌進展に関与する新規遺伝子の機能解析および臨床応用への試み	長山 聡	消化器外科	624,000	補	文部科学省
高脂肪・高カロリー食による泌尿器癌の進展の分子機構の解明と治療標的分子の同定	湯浅 健	泌尿器科	260,000	補	文部科学省
乳癌患者における骨髄微小転移と骨微小環境の相互作用についての検討	高橋 俊二	総合腫瘍科	1,690,000	補	文部科学省
末梢循環癌細胞のKRAS遺伝子測定によるEGFR抗体薬の効果測定	松阪 諭	消化器内科	650,000	補	文部科学省
腎細胞癌における新しい分子標的治療およびバイオマーカーの開発	湯浅 健	泌尿器科	910,000	補	文部科学省
大腸癌進展に関与する新規遺伝子の機能解析および臨床応用への試み	長山 聡	消化器外科	2,080,000	補	文部科学省
肝細胞癌肝転移に対する免疫細胞治療の有効性と安全性の評価	有田 淳一	消化器外科	650,000	補	文部科学省
ヒストンバリエントH2A. Z置換の分子基盤の解明	田辺 真彦	乳腺科	2,080,000	補	文部科学省
前頭前野・セロトニン神経を介する急性痛・癌性疼痛の制御	大島 勉	麻酔科	2,210,000	補	文部科学省
大腸ポリポーシスにおける日本人型MUTYH遺伝子異常の実態とその検出法の確立	瀧 景子	遺伝子診療センター	3,770,000	補	文部科学省
頭頸部腫瘍に対する重粒子線療法確立に関する研究	小口 正彦	放射線治療部	100,000	補	放射線医学総合研究所
第13回欧州腫瘍学会	吉岡 龍二	消化器外科	190,000	補	がん研究振興財団
術前内視鏡生検組織を用いたmicroRNA網羅的発現解析に基づく直腸癌術前放射線化学療法効果予測キットの開発	秋吉 高志	消化器外科	1,000,000	補	がん研究振興財団
大腸癌肝転移の正確なステージングを目的とした術中造影超音波、造影MDCT、Gd-EOB-DTPA造影MRIの組み合わせによる診断法の開発	有田 淳一	消化器外科	500,000	補	宮崎県対がん協会 黒川利雄がん研究基金
大腸癌肝転移の正確なステージングを目的とした術中造影超音波とGd-EOB-DTPA造影MRIの前向き比較	有田 淳一	消化器外科	300,000	補	武田科学振興財団

門脈血中の循環癌細胞の測定を用いた、全く新しい直腸癌切除後の再発予防方法の開発	小西 毅	消化器外科	500,000	補	癌臨床研究助成基金
大腸癌原発巣における癌進展関連蛋白の発現検討	長山 聡	消化器外科	500,000	補	外科学研究助成基金
転移性肝癌切除患者に対するソナゾイド術中造影超音波の有用性に関する前向き臨床試験 —Gd-FOB-DTPA造影MRI、造影MDCTとの比較—	有田 淳一	消化器外科	1,000,000	補	三井生命厚生事業団
miRNA網羅的発現解析に基づく直腸癌術前放射線化学療法効果予測キットの開発	秋吉 高志	消化器外科	1,000,000	補	小林がん学術振興会
集学的治療を施行した進行直腸癌における、門脈血中循環癌細胞を用いた全く新しい再発予測方法の開発	小西 毅	消化器外科	1,000,000	補	がん集学的治療研究財団
血管新生阻害剤における抗腫瘍効果の予測因子と耐性獲得因子のバイオマーカー解析	末永 光邦	消化器内科	1,000,000	補	大和証券ヘルス財団

計 64

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am. J. Gastroenterol., 106: 357-364, 2011	Sporadic nonampullary duodenal adenoma in the natural history of duodenal cancer: A study of follow-up surveillance.	Fujisaki, J.	内視鏡診療部
Am. J. Surg., 201 (2): 203-208, 2011	Intrahepatic cholangiocarcinoma: analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections.	Saiura, A.	消化器外科
Am. J. Surg., 201 (6): 725-733, 2011	Prognostic factors for survival after salvage surgery for locoregional recurrence of colon cancer.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Am. J. Surg., 202 (3): 259-264, 2011	Incidence of and risk factors for anastomotic leakage after laparoscopic anterior resection with intracorporeal rectal transection and double-stapling technique anastomosis for rectal cancer.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Am. J. Surg., 202 (4): 449-454, 2011	Safety and efficacy of hepatic vein reconstruction for colorectal liver metastases.	Saiura, A.	消化器外科
Ann. Nucl. Med., 25 (4): 261-267, 2011	Relationship of detection rate of PET cancer screening examinees and risk factors: analysis of background of examinees.	Arai, M.	遺伝子診療部
Ann. Surg., 254 (4): 676-677, 2011	Incidence of anastomotic leakage after rectal cancer surgery without bowel preparation.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Ann. Surg. Oncol., 18 (S3): S237, 2011	Combined resection of the iliac vessels for lateral pelvic lymph node dissection can be safely performed through laparoscopic approach.	Konishi, T.	消化器外科
Asia Pac. J. Clin. Oncol., 7 (2): 129-135, 2011	How do we apply adjuvant FOLFOX to Japanese patients with curatively resected colorectal cancer?	Suenaga, M.	消化器内科
BJU Int.: in press, 2011	Clinical efficacy and prognostic factors for overall survival in Japanese patients with metastatic renal cell cancer treated with sunitinib.	Yuasa, T.	泌尿器科
Br. J. Cancer, 105 (8): 1197-1202, 2011	Accurate staging of axillary lymph nodes from breast cancer patients using a novel molecular method.	Osako, T.	病理部
Br. J. Surg., 98 (3): 385-390, 2011	Laparoscopy-assisted gastrectomy in patients with previous endoscopic resection for early gastric cancer.	Hiki, N.	消化器外科
Breast Cancer: in press, 2011	Breast cancer associated with mammary hamartoma.	Kai, M.	乳腺科
Breast Cancer, 18 (3): 182-188, 2011	Incidence of chemotherapy-induced amenorrhea in premenopausal patients with breast cancer following adjuvant anthracycline and taxane.	Okanami, Y.	乳腺科
Breast Cancer: in press, 2011	A lower dose of docetaxel at 60 mg/m ² could be continued longer for controlling peripheral edema in patients with metastatic breast cancer.	Hosonaga, M.	化学療法科
Breast Cancer, 18 (3): 195-202, 2011	Detection of circulating tumor cells in peripheral blood of heavily treated metastatic breast cancer patients.	Tokudome, N.	乳腺科
Breast Cancer: 2011	Proposal of a novel method for observing the breast by high-resolution ultrasound imaging: understanding the normal breast structure and its application in an observational method for detecting deviations.	Izumori, A.	乳腺科

Breast Cancer, 18 (4): 268-272, 2011	Malignant transformation of breast fibroadenoma to malignant phyllodes tumor: long-term outcome of 36 malignant phyllodes tumors.	Iijima, K.	乳腺科
Br. J. Cancer., 105 (8): 357-362, 2011	Phase I study of irinotecan and gefitinib in patients with gefitinib treatment failure for non-small cell lung cancer.	Nishio, M.	呼吸器内科
Cancer, 117 (17): 4026-4032, 2011	Circulating endothelial progenitors and CXCR4-positive circulating endothelial cells are predictive markers for bevacizumab.	Hatake, K.	血液腫瘍科
Cancer Chemother. Pharmacol., 67 (6): 1423-1428, 2011	Feasibility study of adjuvant chemotherapy with S-1 plus cisplatin for gastric cancer.	Sano, T.	消化器外科
Cancer Sci., 102 (1): 130-136, 2011	Prospective randomized phase II study determines the clinical usefulness of genetic biomarkers for sensitivity to primary chemotherapy with paclitaxel in breast cancer.	Ito, Y.	乳腺科
Cancer Sci., 102 (11): 2058-2064, 2011	Phase I study of dasatinib (BMS-354825) in Japanese patients with solid tumors.	Takahashi, S.	化学療法科
Cancer Sci., 102 (11): 1949-1957, 2011	Biomarkers to predict response to sunitinib therapy and prognosis in metastatic renal cell cancer.	Yuasa, T.	泌尿器科
Cancer Sci., 102 (6): 1188-1192, 2011	Circulating tumor cells as a surrogate marker for determining response to chemotherapy in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.	Hatake, K.	血液腫瘍科
Cancer Sci., 102 (4): 845-851, 2011	Phase I study of intravenous ASA404 (vadimezan) administered in combination with paclitaxel and carboplatin in Japanese patients with non-small cell lung cancer.	Nishio, M.	消化器内科
Cardiovasc. Intervent. Radiol., 34 (5): 980-988, 2011	Radiological insertion of Denver peritoneovenous shunts for malignant refractory ascites: a retrospective multicenter study (JIVROSG-0809).	Matsueda, K.	画像診断部
Chemotherapy, 57 (4): 357-362, 2011	Randomized phase II study of two schedules of carboplatin and gemcitabine for stage IIIB and IV advanced non-small cell lung cancer (JACCRO LC-01 study).	Nishio, M.	消化器内科
Clin. Exp. Metastasis, 28 (4): 405-411, 2011	Treatment outcome and prognostic factors in renal cell cancer patients with bone metastasis.	Yuasa, T.	泌尿器科
Clin. Nucl. Med., 36 (7): 593-594, 2011	FDG PET imaging in a patient with primary seminoma of the prostate.	Hayasaka, K.	核医学部
Clin. Pharmacol. Ther., 90 (2): 221-228, 2011	A phase I study evaluating tolerability, pharmacokinetics, and preliminary efficacy of L-menthol in upper gastrointestinal endoscopy.	Hiki, N.	消化器外科
Eur. J. Gynaecol. Oncol., 32 (5): 471-475, 2011	Second-line chemotherapy for carboplatin/paclitaxel-refractory ovarian cancer: are multi-agent chemotherapies of little value truly?	Takeshima, N.	婦人科
Eur. J. Gynaecol. Oncol., 32 (6): 647-650, 2011	The treatment of uterine leiomyosarcoma: clinical outcomes of 18 cases and the effectiveness of chemotherapy.	Matsumura, M.	婦人科
Fam. Cancer, 10 (4): 649-654, 2011	Factors affecting encouragement of relatives among families with Lynch syndrome to seek medical assessment.	Arai, M.	遺伝子診療部
Gastric Cancer, 14 (2): 194-199, 2011	Laparoscopy-assisted subtotal gastrectomy with very small remnant stomach: a novel surgical procedure for selected early gastric cancer in the upper stomach.	Hiki, N.	消化器外科
Gastric Cancer, 14 (2): 97-100, 2011	New Japanese classifications and treatment guidelines for gastric cancer: revision concepts and major revised points.	Sano, T.	消化器外科

Geriatr. Gerontol. Int., 12 (2): 304-309, 2011	Psychiatric diagnosis in the elderly referred to a consultation-liaison psychiatry service in a general geriatric hospital in Japan.	Yamada, K.	腫瘍精神科
Hepatogastroenterology, 58 (107-108): 1046-1050, 2011	Is preservation of the celiac branch of the vagal nerve effective in preventing stasis following pylorus-preserving gastrectomy?	Hiki, N.	消化器外科
Int. J. Gynecol. Cancer, 21 (2): 349-354, 2011	Parametrial involvement in FIGO stage IB1 cervical carcinoma diagnostic impact of tumor diameter in preoperative magnetic resonance imaging.	Kamimori, T.	婦人科
Int. J. Clin. Oncol., 16 (4): 379-386, 2011	Radiotherapy quality assurance of the Japanese Gynecologic Oncology Group study (JGOG1066): a cooperative phase II study of concurrent chemoradiotherapy for uterine cervical cancer.	Umayahara, K.	婦人科
Int. J. Clin. Oncol., 16 (5): 577-580, 2011	A case study of metastatic Xp11.2 translocation renal cell carcinoma effectively treated with sunitinib.	Yuasa, T.	泌尿器科
Int. J. Clin. Oncol.: 2011	Outcome, clinical prognostic factors and genetic predictors of adverse reactions of intermittent combination chemotherapy with docetaxel, estramustine phosphate and carboplatin for castration-resistant prostate cancer.	Yuasa, T.	泌尿器科
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.: in press, 2011	Influence of lymphatic invasion on locoregional recurrence following mastectomy: Indication for postmastectomy radiotherapy for breast cancer patients with one to three positive nodes.	Matsunuma, R.	乳腺科
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 81 (5): 1352-1358, 2011	Stereotactic body radiotherapy (SBRT) for operable stage I non-small-cell lung cancer: can SBRT be comparable to surgery?	Kozuka, T.	放射線治療部
Invest. New Drugs: in press, 2011	A randomized phase II trial of intra-arterial chemotherapy using SM-11355 (Miriplatin) for hepatocellular carcinoma.	Ishii, H.	消化器内科
J. Anesth., 25 (2): 225-228, 2011	Blockade of 5-HT(2A) and/or 5-HT(2C) receptors modulates sevoflurane-induced immobility.	Oshima, T.	麻酔科
J. Epidemiol., 21 (1): 2-12, 2011	An overview of genetic polymorphisms and pancreatic cancer risk in molecular epidemiologic studies.	Ishii, H.	消化器内科
J. Gastroenterol., 46 Suppl 1: 11-16, 2011	Target biopsy or step biopsy? Optimal surveillance for ulcerative colitis: a Japanese nationwide randomized controlled trial.	Watanabe, T.	化学療法科
J. Hepatobiliary. Pancreat. Sci.: in press, 2011	Evaluation of pancreatic intraepithelial neoplasia and mucin expression in normal pancreata.	Matsuyama, M.	消化器内科
J. Thorac. Oncol., 6 (3): 494-499, 2011	The impact of superior mediastinal lymph node metastases on prognosis in non-small cell lung cancer located in the right middle lobe.	Sakao, Y.	呼吸器外科
J. Ultrasound Med., 30 (7): 943-952, 2011	Stage IA ovarian cancers: comparison of sonographic findings and histopathologic types between patients with normal and elevated serum cancer antigen 125 levels.	Hirai, M.	健診センター
Jpn. J. Clin. Oncol., 41 (5): 718-722, 2011	Safety of BLP25 Liposome Vaccine (L-BLP25) in Japanese Patients with Unresectable Stage III NSCLC after Primary Chemoradiotherapy: Preliminary Results from a Phase I/II Study.	Nishio, M.	呼吸器内科
Jpn. J. Ophthalmol., 55 (2): 132-137, 2011	Relationship between vision-related quality of life in Japanese patients and methods for evaluating visual field.	Tamura, M.	眼科
J. Gastroenterol., 46 (7): 873-882, 2011	An open-label, single-arm study assessing the efficacy and safety of L-menthol sprayed onto the gastric mucosa during upper gastrointestinal endoscopy.	Hiki, N.	消化器外科

J. Gastroenterol. Hepatol., 26 (9): 1434-1440, 2011	Conflicting clinical environment about the management of antithrombotic agents during the periendoscopic period in Japan.	Yamamoto, Y	内視鏡診療部
J. Gastroenterol. Hepatol., 26 (8): 1262-1269, 2011	Diagnosis of undifferentiated type early gastric cancers by magnification endoscopy with narrow-band imaging.	Okada, K.	内視鏡診療部
J. Gastrointest. Surg, 15 (12): 2145-2152, 2011	Different features of complications with billroth-I and roux-en-Y reconstruction after laparoscopy-assisted distal gastrectomy.	Hiki, N.	消化器外科
J. Gastrointest. Surg, 15 (9): 1520-1525, 2011	Three-step esophagojejunal anastomosis with atraumatic anvil insertion technique after laparoscopic total gastrectomy.	Hiki, N.	消化器外科
J. Thorac. Oncol., 6 (11): 1889-1894, 2011	Serum Heparan Sulfate Concentration is Correlated with the Failure of Epidermal Growth Factor Receptor Tyrosine Kinase Inhibitor Treatment in Patients with Lung Adenocarcinoma.	Nishio, M.	呼吸器内科
Jpn. J. Clin. Oncol., 41 (1): 76-80, 2011	Outcomes and tolerability of systemic chemotherapy for pancreatic or biliary cancer patients aged 75 years or older.	Yukisawa, S.	消化器内科
Jpn. J. Clin. Oncol., 41 (6): 764-769, 2011	A long-term follow-up study of prospective 80%-dose CHOP followed by involved-field radiotherapy in elderly lymphoma patients.	Oguchi, M.	放射線治療部
Jpn. J. Clin. Oncol., 41 (3): 328-333, 2011	A phase I/II study of combined chemotherapy with mitoxantrone and uracil/tegafur for advanced hepatocellular carcinoma.	Ishii, H	消化器内科
Langenbecks Arch. Surg., 396 (7): 1093-1100, 2011	Repeat treatment for recurrent hepatocellular carcinoma: is it validated?	Kishi, Y.	消化器外科
Langenbecks Arch. Surg., 396 (2): 161-166, 2011	Outcome of surgical treatment for patients with locoregional recurrence of gastric cancer.	Hiki, N.	消化器外科
Lung Cancer, 74 (3): 401-404, 2011	Clinicopathological findings of non-small-cell lung cancer with high serum progastrin-releasing peptide concentrations.	Nishio, M.	呼吸器内科
Med. Phys., 38 (7): 3971-3980, 2011	Management of the baseline shift using a new and simple method for respiratory-gated radiation therapy: detectability and effectiveness of a flexible monitoring system.	Ito, Y.	乳腺科
Ophthalmic. Res., 45 (1): 47-52, 2011	Association between changes in visual acuity and vision-related quality of life in Japanese patients with low vision.	Kobayashi, M.	眼科
Proceedings of the Japan Academy. Series B, Physical and biological sciences, 87 (7): 405-414. 2011	Gastric cancer screening by combined assay for serum anti-Helicobacter pylori IgG antibody and serum pepsinogen levels - "ABC method".	Miki, K.	消化器内科 (顧問)
Prog Nucl Sci Technol, 2: 803-807, 2011	Estimate of photonuclear reaction in a medical linear accelerator using a water-equipment phantom.	Fujibuchi, T.	整形外科
Scand. J. Surg., 100 (2): 86-91, 2011	Learning curve of laparoscopy-assisted gastrectomy using a standardized surgical technique and an established educational system.	Hiki, N.	消化器外科
Support Care Cancer: in press, 2011	Prospective evaluation of incidence and severity of oral mucositis induced by conventional chemotherapy in solid tumors and malignant lymphomas.	Nishimura, N.	化学療法科
Surg. Endosc., 25 (4): 1182-1186, 2011	Long-term outcome and survival with laparoscopy-assisted pylorus-preserving gastrectomy for early gastric cancer.	Hiki, N.	消化器外科
Surg. Endosc., 25 (3): 841-848, 2011	Endoscopic ultrasonography is valuable for identifying early gastric cancers meeting expanded-indication criteria for endoscopic submucosal dissection.	Okada, K.	内視鏡診療部

Surg. Endosc., 25 (1): 98-107, 2011	Risk factors for delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasm.	Yamamoto, Y.	消化器内科
Surg. Endosc., 25 (5): 1409-1414, 2011	Learning curve for standardized laparoscopic surgery for colorectal cancer under supervision: a single-center experience.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Surg. Today, 41 (2): 247-250, 2011	Reoperative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence after previous axillary lymph node dissection: Report of a case.	Hattori, M.	化学療法科
Surgery, 150 (6): 1250-1257, 2011	Effect of postoperative thyrotropin suppressive therapy on bone mineral density in patients with papillary thyroid carcinoma: a prospective controlled study.	Sugitani, I.	頭頸科
Surg. Today, 41 (5): 730-732, 2011	Intra-abdominal desmoid tumor mimicking locoregional recurrence after colectomy in a patient with sporadic colon cancer: report of a case.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Surg. Today, 41 (8): 1067-1074, 2011	Predictors of the efficacy of FOLFIRI plus bevacizumab as second-line treatment in metastatic colorectal cancer patients.	Suenaga, M.	消化器内科
Surg. Laparosc. Endosc. Percutan. Tech., 21 (6): 415-418, 2011	Colon cancer in the splenic flexure: comparison of short-term outcomes of laparoscopic and open colectomy.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Surg. Laparosc. Endosc. Percutan. Tech., 21 (6): 409-414, 2011	Effect of body mass index on short-term outcomes of patients undergoing laparoscopic resection for colorectal cancer: a single institution experience in Japan.	Akiyoshi, T.	消化器外科
Urol. Int., 87 (2): 175-181, 2011	Outcome of Antegrade Radical Prostatectomy with Intended Wide Resection in Prostate Cancer Patients with a Preoperative Serum PSA Level >100 ng/ml.	Urakami, S.	泌尿器科
Urology, 77 (4): 831-835, 2011	Tumor size is a potential predictor of response to tyrosine kinase inhibitors in renal cell cancer.	Yuasa, T.	泌尿器科
Urology, 78 (5): 1131-1135, 2011	Prognostic impact of C-reactive protein for determining overall survival of patients with castration-resistant prostate cancer treated with docetaxel.	Saito, K.	泌尿器科
World. J. Surg., 35 (7): 1689-1690, 2011	Risk factors for and long-term outcomes of anastomotic leakage after colorectal cancer surgery.	Akiyoshi, T.	消化器外科
World J. Gastrointest. Surg, 3 (10): 142-146, 2011	Superiority of laparoscopic rectal surgery: Towards a new era.	Fukunaga, Y.	消化器外科
World J. Surg., 35 (8): 1898-1903, 2011	Predictive factors for bile leakage after hepatectomy: analysis of 505 consecutive patients.	Saiura, A.	消化器外科
乳癌の臨床, 25 (6): 699-704, 2011	乳癌術前化学療法により病理学的完全奏効例における早期中枢神経再発.	吉田(岩崎)玲子	乳腺科
乳癌の臨床, 26 (3): 373-376, 2011	乳癌脳転移治療後に薬剤性無顆粒球症を起こした1例.	増村京子	乳腺科
乳癌の臨床, 25 (6): 671-676, 2011	BD領域の乳房温存術において腹部真皮脂肪弁挙上による再建を行った1例.	植弘奈津恵	乳腺科
医療薬学, 37 (11): 611-615, 2011	XELOX療法における薬剤師外来の有用性.	前勇太郎	薬剤部
医療薬学, 37 (7): 403-409, 2011	Cetuximab投与後に生じる低マグネシウム血症の発現頻度と発現時期の調査とその対策.	中本恵理	薬剤部

形成外科, 54 (3): 315-322, 2011	インプラント乳房再建における対側乳房augmentation.	今井智浩	形成外科
形成外科, 54 (10): 1147-1154, 2011	乳癌切除後の一次再建における安全なティッシュエキスパンダー挿入法の検討 muscular pocket法.	前田拓摩	形成外科
形成外科, 54 (8): 927-933, 2011	放射線照射後血管肉腫に対し分割広背筋皮弁で再建した1例.	松原有木子	形成外科
形成外科, 54 (8): 903-911, 2011	乳房温存療法適応例に対する全摘および一次再建術の検討.	澤泉雅之	形成外科
形成外科, 54 (3): 323-329, 2011	血管柄付き腓骨移植術と後脛骨動脈穿通枝皮弁を用いて一期的再建した下肢骨悪性腫瘍の1例.	藤田和敏	形成外科
日本がん看護学会誌, 25 (2): 43-51, 2011	抗がん剤臨床試験の経過に伴う患者の体験と看護支援の検討.	宋菜緒子	看護部
日本呼吸器学会雑誌, 49 (4): 282-286, 2011	ゲフィチニブにより肺血栓塞栓症が改善した肺腺癌の1例.	柳谷典子	呼吸器内科
日本小児整形外科学会雑誌, 20 (1): 98-102, 2011	脛骨骨線維性異形成の治療方針.	谷山崇	整形外科
日本形成外科学会誌, 31 (3): 158-161, 2011	右肘部腫瘍切除後の内側側副靭帯再建の経験.	藤田和敏	形成外科
日本整形外科学会雑誌, 85 (4): 196-201, 2011	悪性骨・軟部腫瘍治療後の長期的問題点 悪性骨・軟部腫瘍術後の長期的な機能.	松本誠一	整形外科
日本病院薬剤師会雑誌, 47 (7): 829-833, 2011	PhaSealシステム新型プロテクタ「プロテクタ・ソーラス」の性能の検討.	杉田一男	薬剤部
日本看護学会論文集: 成人看護1, (41): 37-40, 2011	がん専門病院集中治療室における予定外抜管がおこる状況の検討 前駆症状と対処方法の分析.	中山章子	看護部
月刊レジデント, 4 (11): 30-36, 2011	【内科医の腕の見せどころ 下痢・便秘の診療】下痢・便秘へのアプローチ 当直で見逃してはいけない下痢・便秘.	五十嵐正広	内視鏡診療部
消化器内視鏡, 23 (2): 165-172, 2011	【消化器内視鏡「達人の技」 小腸・大腸】大腸内視鏡 これが私の挿入法 基本が大切.	五十嵐正広	内視鏡診療部
消化器内視鏡, 23 (9): 1648-1652, 2011	【大腸内視鏡をマスターする】【展望】新しいコロノモデルを用いた大腸内視鏡トレーニングシステムの提言.	五十嵐正広	内視鏡診療部
漢方の臨床, 58 (2): 279-288, 2011	癌研有明病院漢方サポート外来 【症例57】74歳男性。残胃再発胃癌、胃全摘術後、後腹膜リンパ節転移。【症例58】73歳女性。非小細胞性肺癌、化学療法後。【症例59】89歳男性。膵嚢胞性腫瘍、胆嚢腫瘍、肺・骨転移、リンパ節転移。【症例60】65歳男性。食道癌放射線化学療法後手術、下咽頭癌放射線治療後。.	星野惠津夫	消化器内科
癌と化学療法, 38 (5): 783-787, 2011	頭頸部腫瘍Docetaxel/Cisplatin/Fluorouracil(DCF)療法による口内炎に対するボラプレジンク-アルギン酸ナトリウム混合液(P-AG液)の予防的効果.	杉崎崇人	薬剤部
臨床整形外科, 46 (3): 235-239, 2011	弾性線維腫の診断・治療の進め方 14症例の経験から.	請川円	整形外科
臨床消化器内科, 26 (7): 757-765, 2011	【消化管感染症の現況-最近の知見、診断のポイント】診断 消化管感染症の診断.	五十嵐正広	整形外科

臨床消化器内科, 26 (7): 766-777, 2011	【消化管感染症の現況-最近の知見、診断のポイント】診断 上部消化管感染症の内視鏡画像診断.	為我井芳郎	内視鏡診療部
薬局, 62 (11): 3457-3466, 2011	【エビデンスと臨床経験に基づいたがん領域の漢方治療】漢方医学的視点からみたがん患者が呈する基本的病態.	星野惠津夫	消化器内科
頭頸部癌, 37 (1): 88-92, 2011	甲状腺乳頭癌による頸動脈浸潤 術前画像診断と手術・病理所見の比較.	田中宏子	画像診断部
頭頸部癌, 37 (3): 349-354, 2011	ガイドラインに沿った上顎癌治療 上顎扁平上皮癌に対する手術治療成績について.	三谷浩樹	頭頸科

計 115件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 門田 守人		
管理担当者氏名	各管理責任部署の長		
	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	院長室、各診療科、薬剤部、手術室、看護部、情報システム課、がん登録室	…病院日誌は院長室、各科診療日誌は各診療科、処方せんは薬剤部、看護記録は看護部。他、患者の診療記録は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本についてはがん登録室にて保管。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	…人事部にて作成、管理。
	高度の医療の提供の実績	病院総務課	…先進医療の年度報告をファイル保管。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院総務課	…学術研究委員会の活動の記録（議事録等）を保管。
	高度の医療の研修の実績	人事部	…人事部にてファイル保管。
	閲覧実績	各管理責任部署	…開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及び情報システム課	…電子カルテによるシステム管理。
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	…医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。
第規 一則 号第 一掲 条の る十 体一 制第 一確 項保 各の 号状 及び 第九 条の 二 十三 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	…ファイル保管の上、電子カルテにて常時、閲覧可。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	…各現場からの IA レポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	…医療安全管理部にゼネラルリスクマネージャーを、各部署にリスクマネージャーを配置。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策部	…感染管理認定看護師を配置。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	…医療安全管理部を設置。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事部及び患者支援センター	…総合窓口の医事部にて相談を受け、内容により担当部署に振り分けて、各部署にて対応。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策部 …ファイル保管の上、電子カルテにて常時、閲覧可。
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部 …院内感染対策委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管。
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部 …院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部 …各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管。
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部 …医薬品情報管理担当者を配置。
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 …医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管。
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 …医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
	二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	麻酔科及び用度課 …医療機器安全管理責任者を配置。
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	用度課 …医療機器の安全使用のための開催記録をファイル保管。
号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び各部署 …自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。	
に掲げる	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	用度課 …用度課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。	
体制			
の			
確保			
の			
状況			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	門田 守人
閲覧担当者氏名	各委員会委員長および各管理責任部署の長
閲覧の求めに応じる場所	病院総務課等

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	92.19 %	算定期間	平成23年10月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	5769人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	3293人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	319人	
	D: 初診の患者の数	6882人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100 を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・指針の主な内容 1. 医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 医療安全管理委員会・組織に関する基本事項 3. 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. 本指針の見直しに関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 (H23. 10. 1～H24. 3. 31)	平成23年度 11回
・活動の主な内容 1. 医療安全管理体制などの実態の把握及び関連資料の整備 2. 具体的な医療安全対策の審議及びその実施施策の策定 3. 医療安全教育・予防対策などに関する立案及びその実施 4. 医療安全基本マニュアルの策定 5. 医療訴訟に関する業務 6. 前各号の定めるもののほか医療安全に係わる必要な事項 7. 医療安全管理委員会規程の改訂	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 (H23. 10. 1～H24. 3. 31)	平成23年度 5回
・研修の主な内容 ▶ 医療安全管理について ▶ 患者急変時の対応 ▶ 「輸液」事故防止のための安全対策 ▶ 抗がん薬の曝露と安全な取り扱いについて ▶ 医療安全としての肺血栓塞栓症対策	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容 ▶ IAレポートの速やかな報告体制 ▶ 報告制度を確立するための環境整備 ▶ 類似事故の再発防止 ▶ 職務上知り得た内容の秘密保持	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・所属職員： 専任 (2) 名 兼任 () 名 ・活動の主な内容 ▶ 安全管理に関する情報の収集・提供をする ▶ IAレポートの集計・分析をする ▶ 複数の部署にまたがる問題を分析し、改善策の実施を図る ▶ 有害事象 (医療事故) 発生時の対応状況に関して、必要な指導と助言を行う ▶ 医療安全管理に関する職員研修の企画・運営をする ▶ 医療安全管理委員会での資料及び議事録の作成・保存その他庶務を担当する	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況 (H23. 10. 1～H24. 3. 31)	6回
<p>・ 活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 院内感染防止のための職員教育▶ 院内感染対策マニュアルの作成および年1回定期的に改訂・更新▶ 院内感染発生時および発生が疑われる際の対応状況を含め管理者に報告▶ 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直す▶ 院内感染に関する情報収集および内外への公表▶ 院内感染患者の治療・管理、および院内感染の拡大防止のための対策の提言 <p>その他、院内感染およびその防止に関わるすべての事項</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 (H23. 10. 1～H24. 3. 31)	4回
<p>・ 研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 院内アウトブレイクを起こさないために▶ 看護助手業務における感染管理について (2回)▶ 日本社会から望まれる院内感染対策とは	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 経路別予防策対象患者発生時の院内感染対策チームによる個別指導と実施状況のフォローアップ▶ 毎日の院内感染対策チーム会議の開催による微生物検査室の感染症情報、その他関連情報の共有▶ 毎日の院内感染対策部長の全病棟回診による院内感染対策実施状況の観察と聞き取り▶ 病棟あたりの耐性菌分離数増加や重要感染症発生時の院内感染対策チームと当該病棟スタッフとの臨時会議開催による情報共有と対策策定▶ 抗菌薬適正使用推進のための感染症科コンサルテーション、血培陽性患者ラウンドの実施と広域抗菌薬長期使用患者ラウンドの実施	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 (H23. 10. 1~H24. 3. 31)	1 回
<p>・研修の主な内容： 医薬品安全研修会としては年2回(以上)テーマを決めて実施。昨年は、インスリン、ハイリスク薬、抗がん薬曝露を取り上げた。今年はこれまで、持参薬の管理と職員全体研修の感染管理(耐性菌)のなかで薬品の適正使用についても触れた研修を実施。また、新入職者を対象に、毎年麻薬と抗がん薬(レジメン)の取扱いに関する研修を実施。また、病棟単位で担当薬剤師がスタッフを対象に医薬品の安全使用に関する勉強会を実施。</p> <p>12.2.21 企業活動と医療機関の関係の透明化ガイドラインについて(学術講演会の枠、医師対象) [部署別研修会]</p> <p>12.1.17 消化器がん制吐剤変更について (11E)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>1. 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成と改訂 ・ 医薬品安全使用のための業務手順書の定期的な見直し (年1回以上)</p> <p>2. 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 ・ 医薬品安全管理研修会の企画立案、実施、指示</p> <p>3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施確認 ・ 業務チェックリストによる確認</p> <p>4. 医薬品の安全使用のための情報収集、伝達 ・ PMDAメディナビ等での情報収集 ・ 医薬品情報の収集とDIニュース等の情報発信の企画立案 ・ Cancer Board等での対面での情報伝達指示</p> <p>5. その他医薬品の安全確保を目的とした改善策の実施 ・ 麻薬、ハイリスク薬、病棟定数等の保管管理の相談 ・ 抗がん薬レジメンの登録、変更の確認 ・ 医療安全委員会、感染対策委員会、薬事審査委員会、化学療法委員会へ出席</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ PMDAメディナビに登録、PMDA医薬品医療機器情報提供ホームページにて最新添付文書を確認、入手している</p> <p>▶ 学会誌、業界紙、MR等より随時情報収集 得られた情報は、以下の方法で院内に周知</p> <p>▶ DIニュースとして院内配布及びイントラネット掲載</p> <p>▶ 電子カルテシステム上で添付文書閲覧可能</p> <p>▶ 重篤な情報については、処方医と患者を特定して情報提供可 (ハイコート、ランマークの事例)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 新規抗がん薬の導入時には、医師、看護師、薬剤師、メーカー学術担当者による合同カンファにて導入の問題点やチェック項目等を事前に検討、また、同意説明文書も事前確認し投与を開始している</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 (H23. 10. 1～H24. 3. 31)	42回
<p>・ 研修の主な内容：新規採用装置・新人教育・定期研修</p> <p>1. 新人の機器の取扱いに関する研修や、特に技術の習熟が必要な機器。さらに、新規で導入した機器に関する研修。</p>	
実施状況	
① 乳腺センター 「電気メス取扱い研修」	23年10月 20名
② 健診センター 「内視鏡用炭酸ガス送気装置」	23年11月 11名
③ 看護部、他 「輸液ポンプ使用時の安全対策」	23年11月/2回 193名
④ 看護部 「SS-01シュアプラグの研修」	23年12月 49名
⑤ 放射線治療部 「小線源計画装置導入の研修」	23年10月 7名
⑥ 放射線治療部 「治療機器全般研修」	23年10月 13名
⑦ 放射線治療部 「治療機器全般研修」	23年11月 16名
⑧ 放射線治療部 「IMRTの治療計画研修」	23年12月 16名
⑨ 放射線治療部 「学会関係報告、他」	23年12月 14名
⑩ 放射線治療部 「治療機器全般研修」	24年 1月 13名
⑪ 放射線治療部 「RALS安全使用研修」	24年 2月 4名
⑫ 放射線治療部 「放射線治療計画装置研修」	24年 2月 17名
⑬ 放射線治療部 「治療RIS研修」	24年 3月 17名
⑭ HCU・ICU 「IABP取扱研修」	24年 3月/3 37名
⑮ 超音波検査部 「新規導入による研修」	24年 3月/2 9名
⑯ 超音波検査部 「装置新人教育」	24年 3月 3名
⑰ 超音波検査部 「新規導入による研修」	24年 3月 10名
⑱ 超音波検査部 「装置新人教育」	24年 3月 1名
⑲ 核医学部 「PET/CT装置研修」	24年 3月/3 8名
⑳ 核医学部 「PET/CT装置研修」	24年 3月/3 2名
21 超音波検査部 「超音波デモ機研修」	23年10月/2 16名
22 超音波検査部 「新規導入による研修」	24年 3月/2 9名
23 超音波検査部 「超音波装置研修」	24年12月 3名
24 超音波検査部 「装置新人教育」	24年 3月 3名
25 画像診断部 「マンモグラフィ装置研修」	23年10月 17名
26 画像診断部 「CT装置研修」	24年 1月 14名
27 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅠ」	23年10月～12月 1名
28 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修PET」	23年10月～12月 2名
29 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅡ」	23年10月～12月 2名
30 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅢ」	23年10月～12月 1名
31 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修PET/CT」	23年10月～12月 2名
32 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅠ」	24年 1月～ 3月 2名
33 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修PET」	24年 1月～ 3月 3名
34 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅡ」	24年 1月～ 3月 1名
35 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修ガンマⅢ」	24年 1月～ 3月 3名
36 核医学部 「勤務交代引継ぎ研修PET/CT」	24年 1月～ 3月 2名
37 MEセンター 「外部研修 電気メステクニカルトレーニング」	23年10月 2名
38 MEセンター 「外部研修 内視鏡外科手術時のME対応」	23年12月 1名
39 MEセンター 「外部研修 人工呼吸器の知識」	24年 2月 1名
40 MEセンター 「外部研修 医療機器の安全性へのアプローチ」	24年 3月 1名
41 MEセンター 「外部研修 生命維持管理装置」	24年 3月 1名
42 MEセンター 「PCAポンプ」	23年11月 3名

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 計画の策定 (有・無)
- ・ 保守点検の主な内容：メーカーや院内のME技士が定期点検を実施。

実施状況

人工呼吸器・・・メーカー点検 年間1回 実施日 Evita(9/11・13・25) Bipap LTV(9/13日・20日)
1台は10月1日現在継続中

除細動器・・・院内点検 (ME) 6ヶ月毎 実施日 4/7・12・19・23・26 5/10・19・24・29・31
6/2・14・19・20・25 7/3・5・10・13・26・31 8/3・4・21・30・31 9/4・6最終日
確認

血液浄化装置・・・院内点検 (ME) 毎週1回 実施日 4/6・13・20・26 5/10・17・24・31
6/7・14・21・28・ 7/8・12・19・26 8/2・16・23・30 9/6・13・20 9月最終日

IABP (補助循環)・・・院内点検 (ME) 半年1回 4月・10月 実施日 4/29・30 予定日10/

輸液・シリンジポンプ・・・メーカー点検 年間1回 7/2・3・4・5・6・9・10・11・12・13・17・18
19・24・26・31
院内定期点検 3ヶ月1回

PCAポンプ・・・院内定期点検 6ヶ月毎
デルデックポンプ 4/3・9・18 7/13・18・24・26
アイフューザー 7/31 8/8 9/4・5・11・13・20 ※一部メーカー点検あり

リニアック装置・・・メーカー点検 年間4回 実施日 I 5/15～17 8/21～22 11/20～22 2/19～25
II 4/17～19 7/17～20 10/16～18 1/16～17
III 6/19～21 9/4～6 12/18～20 3/5～7

RALS・・・メーカー点検 年間1回 実施日 4/25

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

情報収集や改善のための方策は、メーカーの案内や新聞記事などで収集し、当院で該当している案件に関しては、医療機器安全管理委員会で検討し、各現場に周知していただいている。また、院内で起きてIAの事例はデスクネッツを活用し医療安全通信に掲載し、全体に発信し、注意喚起を行っている。

発信内容

- ① ベッドサイドモニタのIA報告・・・医療安全通信6月号に掲載し、デスクネッツより注意喚起。
- ② シリンジポンプのIA報告・・・医療安全通信7月号に掲載し、デスクネッツより注意喚起。
- ③ 輸液ポンプのIA報告・・・医療安全通信8月号に掲載し、デスクネッツより注意喚起。
- ④ PMDA・・・手術時の熱傷事故について、9/25デスクネッツへ掲載し、注意喚起。手術部へも回覧。
- ⑤ 新聞記事・・・他院の人工呼吸器による事故を、デスクネッツへ開催し、注意喚起。9/21
- ⑥ メーカー案内・・・手術台のレビテーターに関する使用注意。8月に手術部へ回覧。